

6月4日以降の活動状況

- 4日 10 時頃 昭和火口付近で噴煙（一般の方の京都大学への通報）
- 4日 13 時頃 100~200m 程度の有色噴煙を確認（京都大学）
- 4日 16 時頃 ごく少量の灰白色の噴煙が5~10分間隔で上がるのを確認
- 4日 17 時 30 分 火山観測情報第1号発表
- 5日 朝方まで 時々有色噴煙を上げる
- 5日 11 時~14 時 噴煙は白色・ごく少量で高さ50~200m
- 5日 13 時 49 分頃 桜島島内を震源とする振幅の大きな火山性地震を観測
噴煙の変化なし 空振なし
- 5日 17 時 20 分 火山観測情報第2号発表
- 6日 9 時 25 分~10 時 25 分 噴火
- 7日 17 時 30 分~40 分 灰白色の噴煙 1000m の噴火 空振なし
(噴石確認：京都大学)
- 7日 18 時 4 分~8 分 有色噴煙を確認 高さ300~400m
- 7日 18 時 50 分 火山観測情報第3号発表
- 9日 10 時 53 分 南岳山頂火口から噴火 噴煙の高さ700m 灰白色
- 9日 10 時 56 分 噴火 噴煙の高さ600m 灰白色
- 9日 16 時 10 分 火山観測情報第4号発表
- 9日 18 時 26 分~40 分 噴火 噴煙の高さ1000m 灰白色・中量
- 9日 19 時 45 分~20 時 00 分 噴火 噴煙の高さ1200m 灰白色・中量
- 9日 21 時 20 分 火山観測情報第5号発表
- 10日 6 時 3 分~15 分 噴火 噴煙の高さ1200m 中量

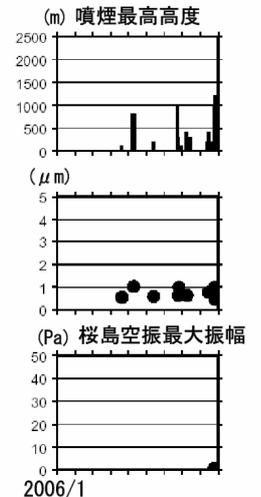
昭和
火口

2003年~2006年6月までの活動比較

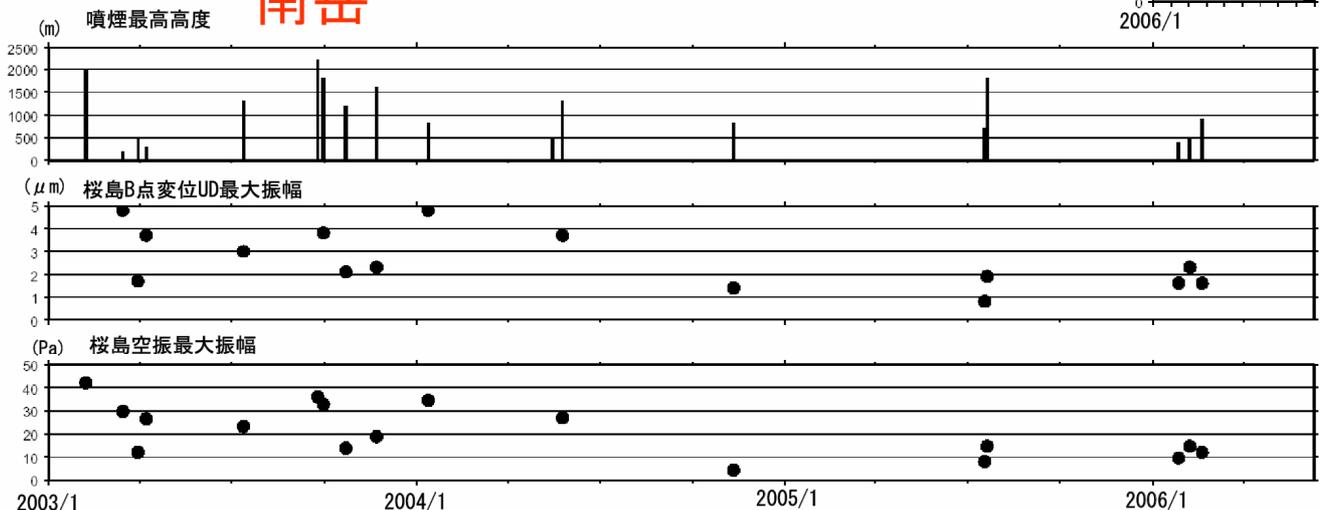
上段：2006年6月の昭和火口からの噴火

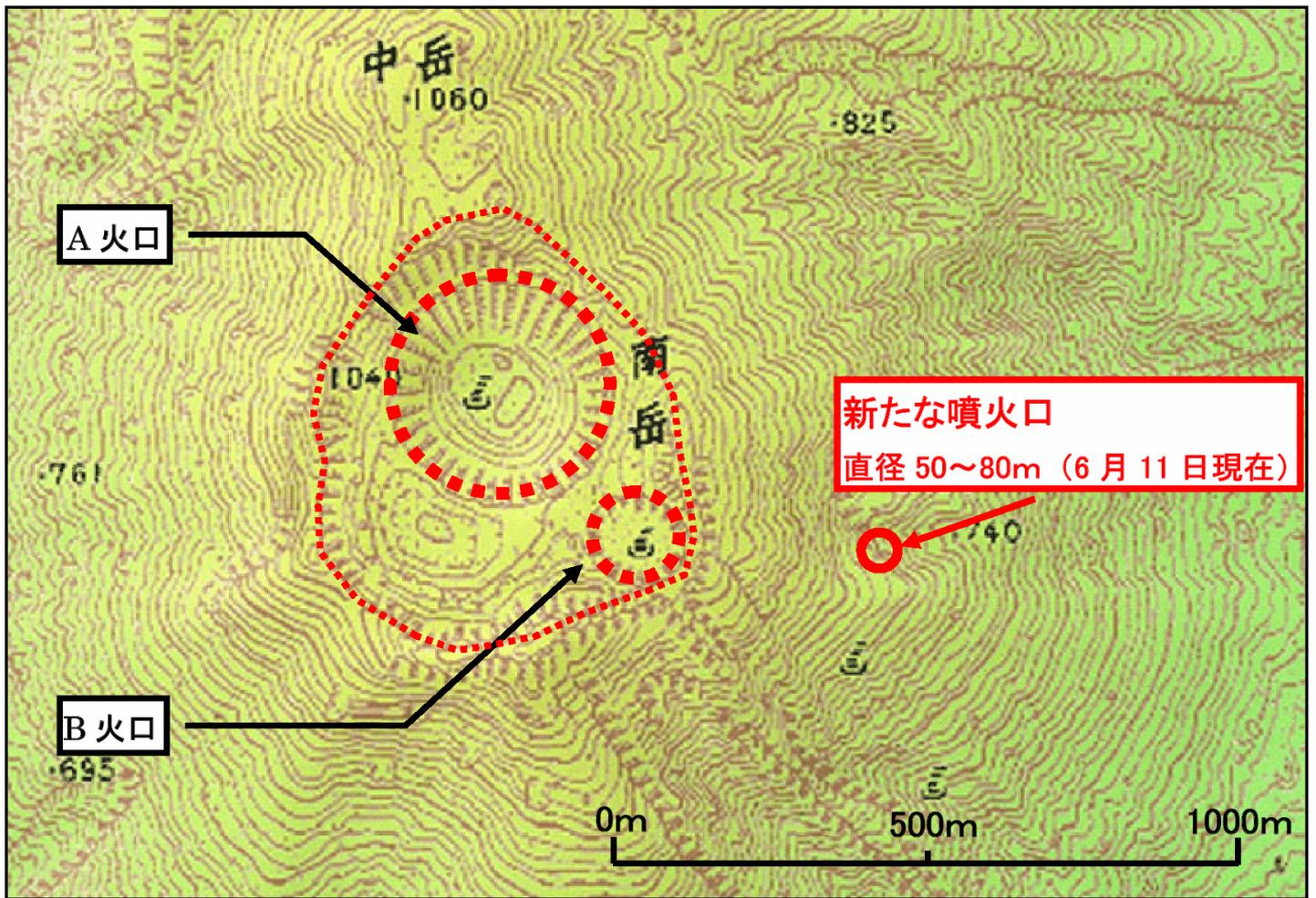
下段：2003年~2006年6月の南岳爆発

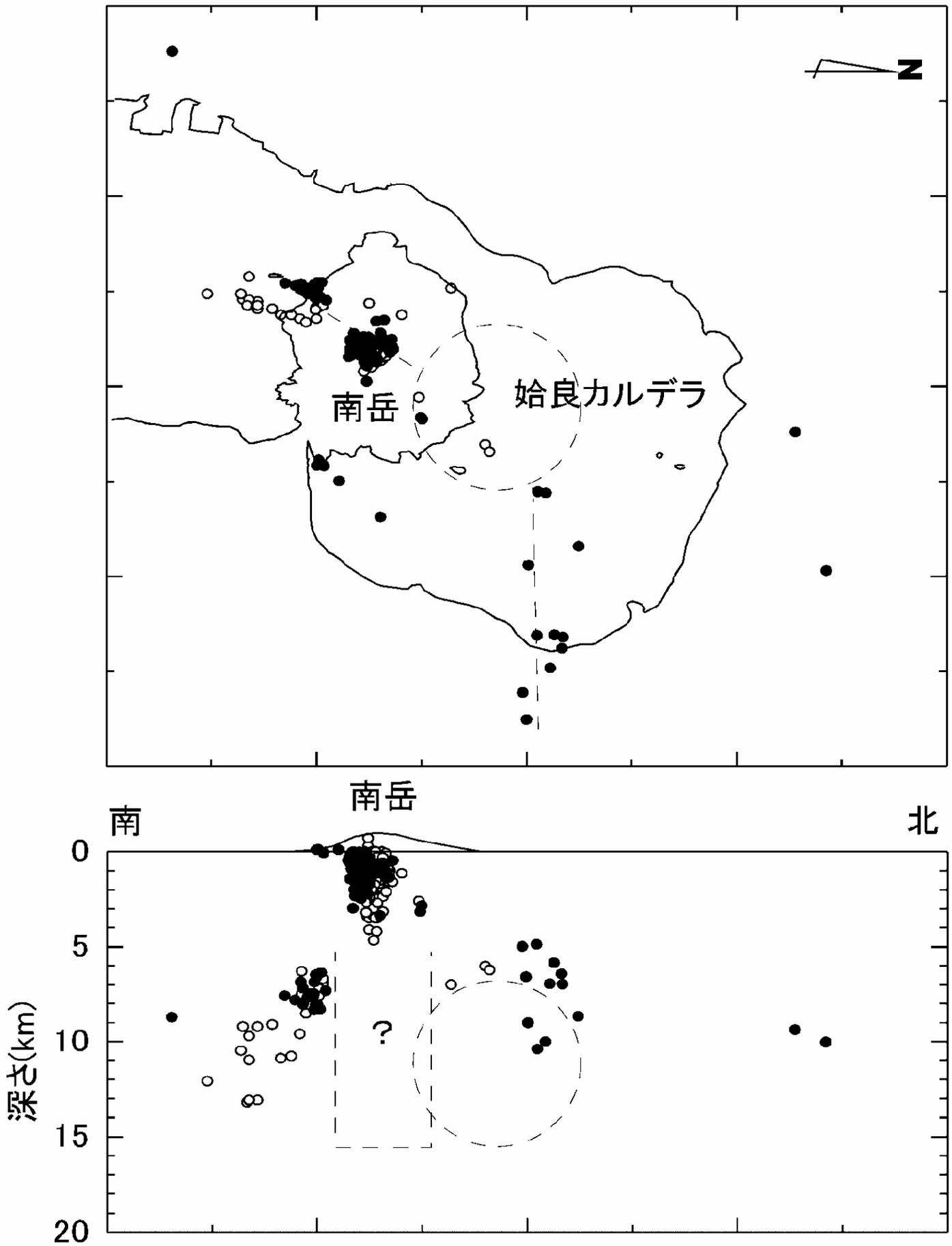
(それぞれ、噴煙最高高度、地震計最大振幅、空振計最大振幅)



南岳







付図2 A型地震の震源分布 (井口、2006).
 白丸は1988年以前、黒丸は2001年～2004年の震源。



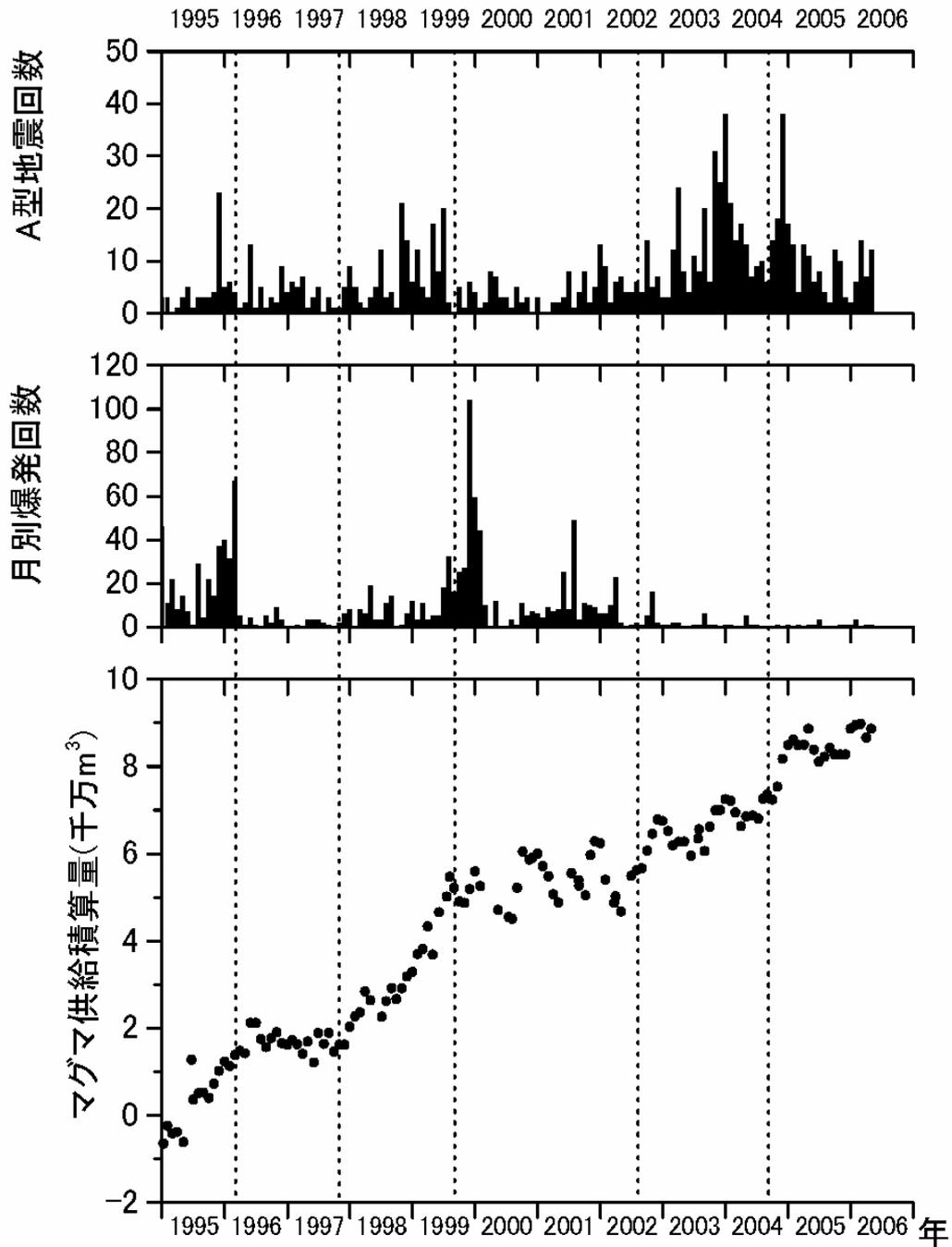
桜島南岳南東側より撮影 (2005年3月2日気象台)



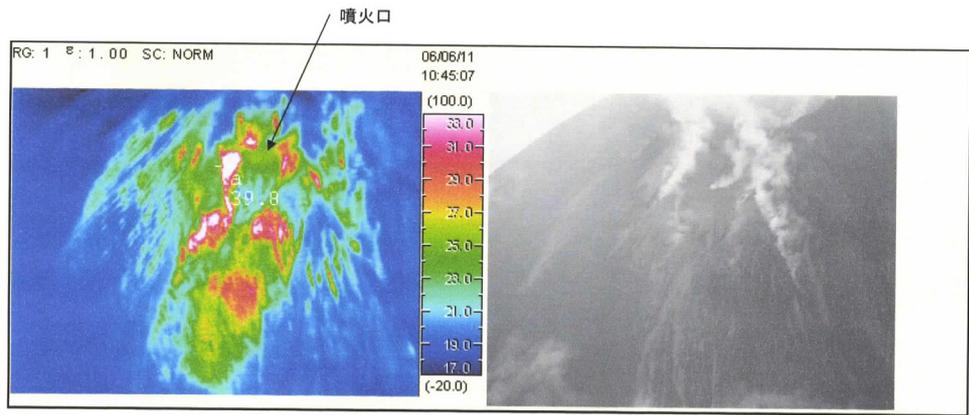
(2006年6月6日大隅河川国道事務所資料提供)



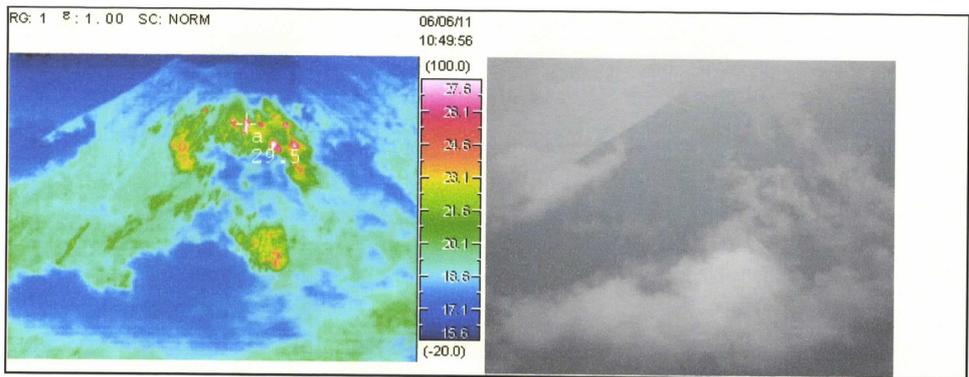
2006/6/4, 15:22 黒神地獄河原から撮影
京大防災研



付図1 GPSから推定したマグマ供給、A型地震と爆発回数の関係
(1995年1月～2006年5月)



桜島東斜面の地表面熱分布。
 温度のもっとも高い部分は噴火口
 の南側。



桜島南東斜面の地表面熱分布。
 昭和火口の東側および南東斜面に
 も熱異常域が存在する。

桜島 熱赤外映像 (2006年6月11日)
 京都大学防災研究所